

校長室から

(H30年度)

ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 11

平成30年5月28日(月)発行

新聞読む子ども、正答率高く 前号の続き

文部科学省実施の学力調査と生活習慣などを尋ねたアンケート結果を分析したところ、新聞読習慣と学力との間に相関関係があることが分かりました。前号では、平成28年度の調査結果をお知らせしましたが、今回は平成27年度の調査結果(理科も実施)をお知らせします。

◆学力テストの平均正答率と新聞読習慣の関係(平成27年度全国学テ結果)
質問:新聞を読んでいますか

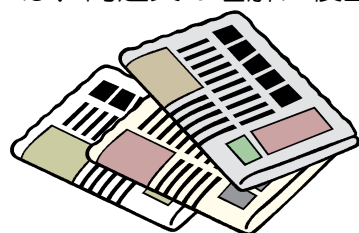
【小学6年生】	国語A	国語B	算数A	算数B	理科(%)
ほぼ毎日読む	77.0	73.0	81.2	53.7	67.8
週に1~3回読む	75.2	71.9	79.9	50.8	66.1
月に1~3回読む	71.3	67.5	76.4	46.1	61.9
ほぼ、読まない	67.3	62.0	72.7	42.0	58.1

※どの教科でも、新聞をほぼ毎日読む児童は、ほぼ、読まない児童に比べて正答率は約10ポイント高いことが分かります。

【中学3年生】	国語A	国語B	数学A	数学B	理科(%)
ほぼ毎日読む	80.6	69.5	70.8	49.9	60.0
週に1~3回読む	80.1	69.9	70.1	48.5	59.1
月に1~3回読む	77.3	67.4	66.4	44.0	55.0
ほぼ、読まない	74.8	64.9	63.0	40.0	51.2

※中学校でも、その差ははっきり出ていることがわかります。新聞をほぼ毎日読む生徒は、ほぼ、読まない生徒より5教科とも正答率は高いです。

文科省初等中等教育局の八田和嗣学力調査室長は「新聞などで培った言語力は、問題文の理解に役立つだろう」と話している。



地域や社会での出来事への関心を尋ねた設問でも、関心がある生徒の方がそうでない生徒と比べて小6で最大17.3ポイント、中3で最大14.9ポイント正答率が高かった。八田氏は、社会への興味を育む上で新聞の活用が期待できるという。アンケートでは学校側に

ひ	とつにみんなでまとうろう!	あ	いさつができる子
が	くりょくと体力をのばそう!	い	っしょうけんめい勉強する子
し	っかりせいかつしよう!	う	んどうが好きな子
な	かよく友だちとすごそう!	え	がおでやさしい子
ら	んらん夢に向かう東奈良っ子!	お	そうじをがんばる子

も生徒への指導方法を尋ね、国語で「さまざまな文章を読む習慣を付ける授業」を行った学校の方が、生徒の平均正答率が高いとの結果が出た。これについても、生徒に教科書とは異なる文章を読ませる上で、新聞の役割は大きいとしている。八田氏は「新聞活用を盛り込んだ新学習指導要領を推進する根拠となるデータだ。今後も新聞に対する学校側の理解を深めていきたい」と話している。

また、文部科学省は家庭環境と子どもの学力の関係についても調査を行った。新聞や本を読むように勧めている家庭の子どもは、各教科の正答率が高い結果が出た。保護者自身の新聞読習慣と子どもの学力の関係でも「よく読む」保護者の子どもの正答率は「まったく読まない」場合よりも高いことが分かった。

～NIE(Newspaper in Education)で育てたい3つの学力～

新聞を活用した学びの大きな魅力は、次の3つの学力を育てることができることだ。第1は、「思考力・判断力・表現力」である。なぜなら、深く情報読解された新聞記事は、それ自体がすぐれた学習材となるし、子どもたちが行う新聞づくりの活動は、思考・判断・表現の活動そのものだからだ。第2は、これらの力の土台となる言葉の力やコミュニケーション力を育てることができることだ。そして第3は、記事の中に登場する、社会をつくり、それを動かす人間に関心を持つようになることである。

日本 NIE 学会会長(広島大学大学院教育学研究科教授)小原友行

みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」 ロン・クラーク 草思社

ルール35 集会では、おしゃべりしない

全校集会では、おしゃべりしたり、ほかのクラスの友だちの注意を引いたりしない。

●講堂に行くときは整列して静かに歩き、講堂内の座席に座ったら前を向いて両手をひざに置く。何があっても気を散らさずに前を向いて、おしゃべりをせずにいよう。